

▽ 同志社大学経済学会公開シンポジウム

福祉という思想 —＜社会＞はいかにして可能か—

日時：2009年1月10日（土） 13:00～18:00

会場：同志社大学今出川キャンパス 明德館1番教室

入場無料／事前申込不要

プログラム

問題提起：川越 修（同志社大学教授） 13:00～13:15

第Ⅰ部 現在から歴史へ

報告：ヨーロッパ福祉国家の思想史（報告各25分） 13:15～15:00

- ①田中拓道（新潟大学准教授）：社会的連帯の思想再訪
—フランスを中心に—
- ②小峯 敦（龍谷大学教授）：福祉国家理念における貧困と家族
—1940年代のイギリスから現代へ—
- ③保住敏彦（愛知大学教授）：ドイツ社会国家を形成した思想と現代
- ④宮本太郎（北海道大学教授）：脱「20世紀型福祉国家」の可能性
—スウェーデンを中心に—

休憩 15:00～15:20

第Ⅱ部 歴史から現在／未来へ

パネル討論：21世紀社会を支える思想 15:20～16:50

司会：川越 修
パネリスト：第Ⅰ部報告者
宇城 輝人（福井県立大学准教授）
山森 亮（同志社大学准教授）
市野川容孝（東京大学准教授）

休憩 16:50～17:00

全体討論（フロアとの質疑＋総括討論） 17:00～18:00